



# JAL不当解雇撤回ニュース

No 044号 2011.07.10  
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局  
連絡先: 航空労組連絡会事務局  
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4  
フェニックスビル内  
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819  
<http://www.phenix.or.jp/ikkk/>

6/27 第4回乗員裁判報告集会より

## 日本中で期待され、世界でも注目されている

### ～JAL不当解雇問題、8、9月と勝利に向かって重大な局面に～

第4回乗員裁判が6月27日に行われ、日乗連の議長で原告でもある山崎さんが意見陳述しました。裁判に先立ち裁判所前で行われた宣伝行動には、雨天にもかかわらず147名の支援者、原告が参加し、全労連全国一般日赤争議の廣瀬さん、全労働の浜野さん、全国一般東京南部の平賀委員長より連帯の挨拶を頂きました。また、裁判終了後の報告集会には、132名が参加しました。

### 不当解雇撤回は安全のための要求です

山崎 日乗連議長

皆さん、ありがとうございました。安全論議の部分分かりづらかったかもしれませんが、職場の人たちにも聴いて頂き、私たちの解雇撤回の闘いが安全のための要求であることに確信をもってもらいたかったのです。ILO、IFALPA、ITFへ要請に行き、海外にもこの問題が広がっていることを実感しました。陳述では、世界中がこの判決に注目していることも裁判長に伝えました。



### 8、9月で解雇の違法性を完全に立証しつくし、勝利へと邁進

山口弁護士

1月19日の提訴以来、裁判はハイピッチで順調に進んでいます。支援機構、管財人代理による不当労働行為申し立ての命令が出されることも見えてきました。機構の不当ぶりが明らかになれば、きわめて重要な局面がきます。8、9月で解雇の不当性を完全に立証しつくし、勝利に向けて頑張りましょう。今後ともよろしくお祈りします。

### ILOナンバー2が「会社更生下であっても解雇は避けるべき」と発言

宇賀地 乗員組合委員長

午前中は、国交省、厚労省と記者会見に行ってきました。厚労省では「ILOの誰に会ってきたのか」「印象的な意見は？」等、活発な意見が出ました。彼らにとって、不当労働行為についても無視できない状況になっています。何よりも、ILOのナンバー2のガイ・ライダー氏と直接話すことができたことが一番大きく、彼らの対応を変えさせていると思います。ガイ氏は「会社更生下であっても解雇は避けるべき」と明言しました。

7、8、9月と大きく流れが変わっていくポイントになると信じています。



### ～ITFはJALの不当解雇問題で日本国政府への申し入れを採択～

近村 航空連議長

6月20～24日、マドリッドで開かれたITFのアライアンスミーティングに行ってきました。ITFは交通運輸労組の世界的組織で、147カ国644組合の連盟であり、440万人以上の組合員を代表しています。

JALの不当解雇問題について「日本政府に対し解雇を撤回し、人員削減が必要であれば交渉による合意によって確実に実施されるよう、この問題に対し一刻も早い介入を求める」との決議を採択しました。

## 原告の人だけでなくJAL職場の人たちも励ましたい

本原 千葉労連事務局長

この解雇がいかにも不当であり、許せないものであるかとの思いで闘っています。千葉には成田空港もあり何とかしなければとの声の中で、支援する会を立ち上げました。原告団の人達を励ますつもりでしたが、原告団の実行委員とも話し合いを重ねる中でJALの職場の人達も励ましたい、との思いになりました。是非、この「7.4集会」を成功させて解雇を撤回させましょう！

### 勝利に向かって広がる支援の輪

厚労省では、ILOに対する政府答弁書を11月くらい目途に調整中とのこと。私達を支援して下さる350万人もの支援共闘会議、弁護団、そしてILO、ITF、IFALPAと私達の周りに大きな両翼のように拡がり、勝利に向かって闘いの布陣を力強くしています。

和波 航空連事務局長



三星 乗員組合書記長

### 都労委命令は大きな展望となる

6月24日、都労委へ要請に行きました。8月には勝利命令が出るのではないかという状況です。この命令が職場に与える影響は大きく、また大きな展望も与えてくれます。

三星 乗員組合書記長

### 私たちの闘いは、日本中から期待されている闘いです

乗員原告 山口団長

京都での支援共闘会議の立ち上げ、その後釧路、函館、札幌と連日あちこち回っていますが、この闘いはただならぬ闘いであり、周りからの期待も非常に大きいと感じています。それは労働者の権利を守るための「整理解雇4要件」とお客様命にかかわる「安全」を

守る闘いが一体となった問題だからです。会社が判決で負けても、控訴させない闘いが必要です。京セラの株主総会にも取り組みます。不当解雇撤回と原職復帰、航空の安全を守るため、力一杯頑張りましょう。

### JAL整理解雇撤回を求める全客室乗務員の会より 27万円のカンパ

集会の中で、「JAL整理解雇撤回を求める全客室乗務員の会」代表 神戸さんより、6月12日に行われたフリー・マーケットの売上金とカンパの合計27万円が両原告団団長に手渡されました。

企画・実行さらみなさん！ 当日ご購入くださいましたみなさん！ そして様々な形で協力いただいた皆さん！ 本当にありがとうございました。